医療法人 徳洲会
長崎北徳洲会病院 広報誌
Nagasakikita Tokushukai Hospital

かたらんね

2023 秋号（vol.63）

通所リハビリ利用者様＆ひまわり保育園 合同お芋ほり

TOPICS

『在宅医療に携わって』 訪問診療担当 佐野医師

訪問看護のご紹介

スポーツリハビリ外来 インタビュー

Instagram
Follow Me !
NAGAKITATOKUSHUKAI

医療法人 徳洲会の理念 「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」

在宅医療に携わって

記事　訪問診療担当医　佐野 泰二

まず、訪問診療について簡単に説明します。在宅医療は大きく分けて「訪問診療」と「往診」の2つがあります。その他にも看護師、薬剤師が患者宅に出向いての医療サービスもあります。

訪問診療

「訪問診療」は、あらかじめ診療計画の同意を得て約束した日に訪問し、診療・薬の処方・療養上の相談・指導などを行うものです。また、急変時などの緊急訪問をしたり入院などの手配を臨機応変に対応します。自宅での看取りも可能です。

往診

一方、「往診」とは患者さんが発熱したり状態が悪いとき、その都度、要請を受けて自宅で行う医療のことです。

上記2つの医療は患者さんが、通院が困難であることが大前提で片道20分、16㎞程度の範囲に居住されている人が対象となります。

次に、訪問診療でのエピソードを少しお話しさせて頂きます。対象の患者さんはほとんどが入院後であるため、医療的にはいろんな検査がすみ、薬が処方されて状態がおちついています。従って家族の人に様子を伺うことでほぼ診察が完了します。

私が訪問医として心がけていることは、家族間での考え方が違うこともあり（死生観等）、患者さんが自宅で過ごす家族介護者の負担の軽減、心の持ち方に重きを置いてお世話させて頂いています。

レスパイト（respite）という言葉があります。介護が長期にわたることが多いため、介護者の負担を軽くするための「小休止」「息抜き」という意味の英語です。

介護者の娘さんの自作ケーキをいただきながらお茶を飲み、世間話をして一時を過ごすこともあります。帰り際に認知症のおばあさんから「先生、達者でね、体に気をつけんば」と、どちらが患者か分からない言葉をかけられたりします。

また、102歳で一人暮らしのおばあさんとは「私は120歳まで生きる、先生は私の子供と同じ年やね、頑張らんとね」と、少々疲れ気味の私をはげましてくれます。

ということで、私の訪問医としての実際を少しお話してみましたが、いかがでしたか？訪問診療がどういうものか、少しでもイメージして頂けたら幸いです。

長崎北徳洲会介護センターのご紹介

長崎北徳洲会病院には、介護保険でご利用頂くサービスがあります。

① 通所リハビリ　② 訪問リハビリ　③ 訪問看護　④ 訪問診療・居宅療養管理指導　⑤ 訪問介護　⑥ 居宅介護支援

以上６つの事業所です。それぞれのサービス内容や事業所の特徴について、順次ご紹介していきます。

病気が見つかった。
この先不安だなぁ・・・

住み慣れた家で
過ごしたいな・・・

薬がいっぱいで
間違えないか心配。

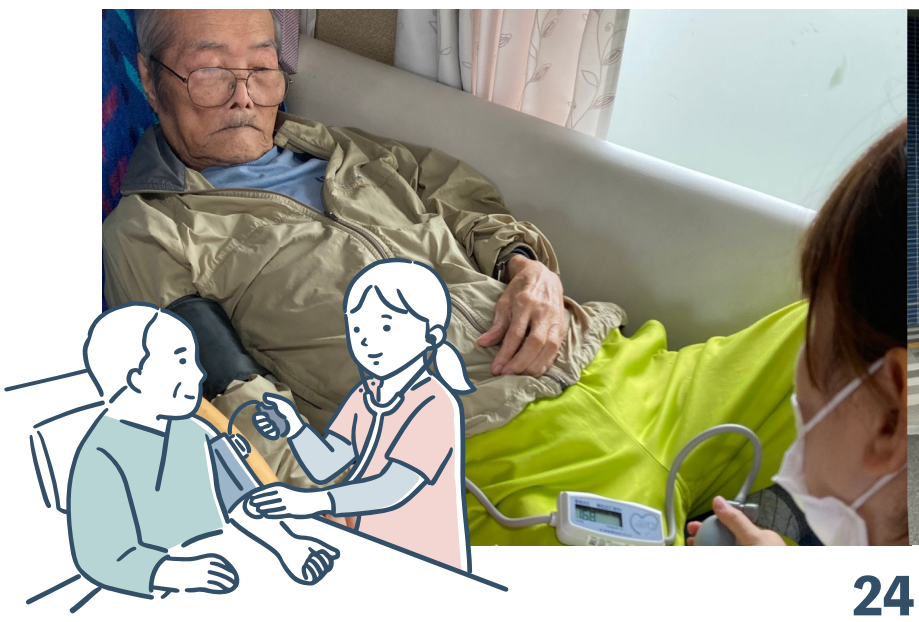
最近、よく
入院するなぁ・・・

こんな時は

訪問看護

サービスをご検討ください

看護師がご自宅までお伺いし、在宅療養をお手伝いします！



24 時間 365 日訪問看護対応しています

訪問看護のご利用方法

- 介護保険を持たれている方は担当ケアマネージャーへご相談をお願いします。
- 介護保険未申請の場合は、かかりつけ医へご相談をお願いします。
  当院がかかりつけでない場合でもいつでもご相談下さい。

お問い合わせは徳洲会介護センターまで　095-813-5870（受付時間 8 時～17時）

共に歩んだ
リハビリの
軌跡

スポーツリハビリ外来
ケガからのスポーツ競技復帰に向けて

患者様は水球部に所属する男子高校生。2023 年 4 月に“腰椎”分離滑り症の診断にて
リハビリが開始されました。今回は患者様・保護者・セラピストからそれぞれ話を伺いました。

患者様
（男子高校生）

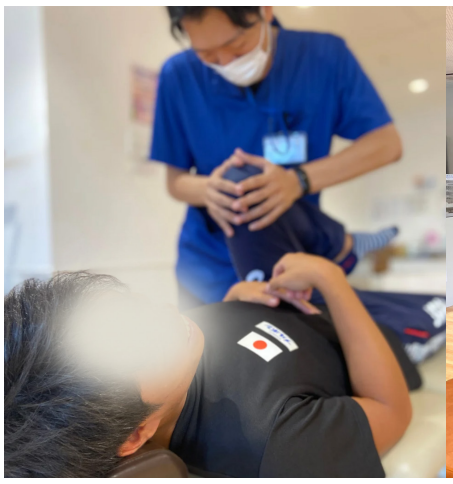
Q. リハビリ開始時点ではどんな気持ちでしたか？

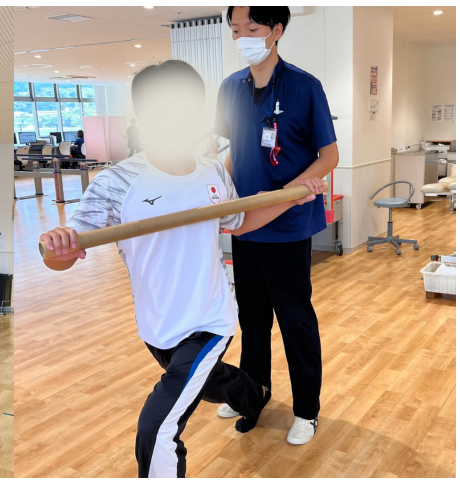
なんの心配もなく、しっかり競技復帰する事ができるか不安でした。

Q. セラピストは競技復帰に向けてどう取り組みましたか？

まずは対話する事を心がけています。選手の不安や憤りなどを聞きながら、
ケガによってできない事ではなく、怪我していてもできる事に目を向け、
それを共有する事を意識しています。その中で、痛みに繋がる運動の修正
や競技特性を考慮した筋力トレーニングを行っていきました。

セラピスト





患者様
（男子高校生）

Q. 競技復帰している現時点での気持ちを聞かせてください。

リハビリと水球の両立ができ、競技前と後のストレッチが習慣化しているため、
良いコンディションで競技を行えているので、嬉しいです。

保護者

**Q. 患者様のご両親に質問です。お子さんが怪我をされて、
リハビリに対して、のように考えられていましたか？**

息子は試合に出たいので、痛みを堪えながらプレーしていた。
そんな中スポーツリハ外来を利用して、自分の身体のことを相談
できる相手ができた事が良かった。リハビリのスタッフが顧問の
先生と直接連絡を取りながら、競技復帰までサポートしてもらえて
助かりました。

スポーツリハビリ
詳しくは当院 HP を
ご覧ください

医療法人徳洲会 長崎北徳洲会病院
電話 095-813-5800（代表） FAX 095-813-5880　所在地 〒851-2131 長崎県西彼杵郡長与町北陽台 1 丁目 5 番 1